看護リハビリテーション学部理学療法学科専攻科目のカリキュラムマップ

養成する人材像	生命に対する深い畏敬の念と倫理観を身につけ、科学的根拠に基づいた理学療法の専門的知識と技術を習得し、地域社会及び国際社会でチーム医療の一員として活躍できる人材を育成する。
ディプロマ・ポリシー	DP１　知識・理解 (1) 理学療法士に求められる倫理的態度を理解している。 (2) リハビリテーション医学に関する標準的な知識を身につけている。 (3) 対象者を精神的、身体的および社会的側面から理解している。 DP２　汎用的技能 (1) 理学療法学領域や関連する学問領域の知識・手段を活用することができる。 (2) 対象者の症状および病態、障害をリハビリテーション医学的に分析し、論理的に表現することができる。 (3) 理学療法の専門性に基づき、保健・医療と福祉の連携のためにチーム医療の一員として行動することができる。 DP３　態度・志向性 (1) 対象者とその家族のために社会的責任を果たそうとする態度を示すことができる。 (2) 対象者の健康を維持、増進するための理学療法の修得を志向することができる。 (3) 様々な国の人・文化を理解し、理学療法士として国際的な視野をもつことができる。 DP４　統合的な学習経験と創造的思考力 (1) 人間と社会、自然と環境について常に関心を持ち、主体的に学習を続けることができる。 (2) 急性期医療から地域ケアにいたる課題を科学的根拠に基づいて探求することができる。 (3) 国際的視野を持ちながら理学療法の専門性および新たな方向性を常に探究し続けることができる。

科目区分			授業科目の名称	主要授業科目	ディプロマ・ポリシーを達成するために ◎特に重要な項目　○重要な項目　△望ましい項目			
					DP1 知識・理解（基礎力）	DP2 汎用的技能（思考力・実践力）	DP3 態度・志向性（思考力・実践力）	DP4 統合的な学習経験と創造的思考力（実践力）
専攻科目	専門基礎科目	人体の構造と機能及び身体の発達	人体の構造Ⅰ	○	◎	○	○	△
			人体の構造Ⅱ	○	◎	○	○	△
			人体の構造Ⅲ	○	◎	○	○	△
			人体の生理機能Ⅰ	○	◎	○	○	△
			人体の生理機能Ⅱ	○	◎	○	○	△
			人間発達学	○	◎	○	○	△
			運動学Ⅰ	○	○	◎	○	△
			運動学Ⅱ	○	○	◎	○	△
			運動学演習	○	○	◎	○	○
			臨床運動学	○	◎	◎	○	○
			運動生理学	○	◎	◎	○	△
			人体の構造演習Ⅰ	○	◎	◎	○	○
			人体の構造演習Ⅱ	○	◎	◎	○	○
			人体の生理機能演習	○	◎	◎	◎	○
		疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	精神医学	○	◎	○	○	△
			整形外科学	○	○	◎	○	△
			内部障害学	○	◎	○	○	△
			神経内科学	○	◎	○	○	△
			小児科学	○	◎	○	○	△
			臨床薬学	○	◎	○	○	△
			栄養学総論	○	◎	○	△	△
			救急法	○	○	○	◎	△
			臨床医学概論	○	○	○	◎	△
			臨床心理	○	◎	○	○	△
			医療ソーシャルワーク論		○	◎	○	○
			婦人科学		○	◎	○	○
		保健医療福祉とリハビリテーションの理念	作業療法概論		○	◎	○	○
			看護学概説		○	◎	○	○
			リハビリテーション概論	○	○	○	◎	○
			地域ケア論	○	◎	◎	○	○
			医療コミュニケーション論	○	○	◎	○	◎
			チームケア論	○	○	◎	◎	◎
			国際保健		△	○	○	◎
			統計学		○	○	△	△

科目区分			授業科目の名称	主要授業科目	ディプロマ・ポリシーを達成するために ◎特に重要な項目　○重要な項目　△望ましい項目			
					DP1 知識・理解 （基礎力）	DP2 汎用的技能 （思考力・実践力）	DP3 態度・志向性 （思考力・実践力）	DP4 統合的な学習経験と創造的思考力 （実践力）
専攻科目	専門科目	基礎理学療法学	理学療法概論	○	◎	◎	◎	○
			基礎ゼミⅠ	○	○	○	◎	◎
			基礎ゼミⅡ	○	○	○	◎	◎
			応用ゼミⅠ	○	○	◎	◎	◎
			応用ゼミⅡ	○	○	◎	◎	◎
			研究ゼミⅠ	○	◎	◎	◎	◎
			研究ゼミⅡ	○	◎	◎	◎	◎
			理学療法研究法	○	◎	◎	◎	○
			卒業研究	○	◎	◎	◎	◎
			運動療法学	○	◎	○	○	△
			運動療法学演習	○	◎	◎	◎	◎
		理学療法管理学	職場管理学	○	○	◎	◎	◎
			医療倫理	○	○	◎	◎	△
			医療リスクマネジメント論	○	○	◎	◎	△
			理学療法評価学	○	◎	○	○	◎
			理学療法評価学演習	○	◎	○	○	◎
			理学療法計画論Ⅰ	○	◎	◎	◎	◎
			理学療法計画論Ⅱ	○	◎	◎	◎	◎
			筋骨格障害理学療法学Ⅰ	○	◎	◎	◎	◎
			筋骨格障害理学療法学Ⅱ	○	◎	◎	◎	○
			物理療法学	○	◎	◎	◎	○
			物理療法学演習	○	◎	◎	◎	○
			中枢神経障害理学療法学	○	◎	◎	○	○
			中枢神経障害理学療法学演習	○	◎	◎	◎	◎
			小児期障害理学療法学	○	◎	○	○	◎
			スポーツ障害理学療法学	○	◎	◎	◎	◎
			義肢装具学	○	◎	○	○	○
			義肢装具学演習	○	◎	○	◎	○
			内部障害理学療法学	○	◎	◎	◎	◎
			内部障害理学療法学演習	○	◎	◎	◎	◎
			神経筋障害理学療法学	○	◎	◎	○	○
			脊髄障害理学療法学	○	◎	○	◎	○
			理学療法総合演習	○	◎	◎	○	○
			日常生活動作学	○	◎	◎	◎	○
			ウイメンズヘルス	○	◎	◎	◎	○
		地域理学療法学	地域理学療法学	○	○	○	◎	◎
			福祉用具論・生活環境論	○	○	◎	◎	◎
		臨床実習	臨床実習Ⅰ	○	△	◎	◎	○
			地域理学療法実習	○	△	◎	◎	○
			臨床実習Ⅱ	○	◎	◎	◎	◎
			総合臨床実習	○	◎	◎	◎	◎